

【別紙様式】

## 平成27年度 津山市立林田小学校

### 改善プラン「平成27年度全国及び岡山県学力・学習状況調査」今後の取組について進捗状況（12月末）

津山市 達成目標	国語A、算数A、理科の平均正答率で県を上回る。 「友だちと話し合って考えを深める」「自分の考えを話したり書いたりする」 「予習をしている」「復習をしている」の肯定的回答の割合で県平均を上回る。	魅力ある授業づくり徹底事業学習状況確認プリント4~6年平均 国語73.5% 算数70.8% 児童アンケート「友だちと話し合って考えを深める」77% 「自分の考えを話したり書いたりする」72% 教員アンケート「特別支援の授業づくり」62.5% 「言語活動を据えた授業づくり」56.3% 家庭学習ハンドブック作成・配布完了。活用率81%（類アンケート）「親子チャレンジ」実施率91.9% 児童アンケート「予習をしている」62% 「復習をしている」72%	
	学校の取組・改善方法（課題に対する改善方法）	進捗状況	3学期及び来年度へ向けて（具体的な達成目標・数値目標）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>岡山型学習指導スタンダードを取り入れ、特別支援の観点に立った指導についての校内研究の充実を図る。</li> </ul>	A	「特別支援教育の観点に立った授業づくり」90%（現在62.5%）類アンケート 「個別の支援計画」作製率100%（現在88% 要支援児25人中23人） 「友だちと話し合って考えを広げたり深めたりする」児童アンケート90% （現在72% 全国学習状況調査時：県65.4%、本校55.4%）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>書く指導では、条件を指定して書く活動を意図的に設ける。国語に限らない</li> <li>算数科では、問題文や式と図を関連づけることや、目的に応じて図やグラフを選択して活用することの指導を丁寧に行う。</li> </ul>	B	「自分の考えを書いたり話したりしている」90%（現在72%）児童アンケート 「問題文や式と図を関連づける指導」90%（現在75%）類アンケート 「目的に応じて図やグラフを選択して活用することの指導」70% 類アンケート
	<ul style="list-style-type: none"> <li>当該学年までに配当されている漢字を正しく習得させる。</li> <li>小数について式を立てたり、筆算を書いて計算したりさせる。</li> </ul>	B	前学年までの漢字テスト正答率平均85%以上 （魅力ある授業づくり徹底事業学習状況確認プリント4~6年平均 現在75.1%） たしかめテスト算数A問題の平均正答率80%以上（同上 現在70.8%）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>「チャレンジ週間」を設けるとともに、家庭学習ハンドブックを作成・配布して、家庭学習の内容や方法の指導を徹底する。</li> </ul>	A	「親子でチャレンジ」3学期実施率100%（現在91.9%） 「家庭学習ハンドブック」活用率90%以上（現在81.3%）類アンケート 「復習をしている」80%以上（現在72% 全国学習状況調査時：県55.4%、本校36.9%） 「予習をしている」70%以上（現在62% 全国学習状況調査時：県42.9%、本校34.3%）

進捗状況・「S：目標を大きく上回った（100%を超えている）」「A：目標を十分達成できた（85%以上100%未満）」「B：目標を概ね達成できた（70%以上85%未満）」  
 「C：目標をある程度達成できた（50%以上70%未満）」「D：目標をあまり達成できなかった（30%以上50%未満）」「E：目標を達成できなかった（30%未満）」